

日頃よりテレコントロールエンジンスターターES-89シリーズをご愛顧いただき誠にありがとうございます。本適応表には、車種別専用ハーネス適応、取り付け作業時の注意事項が記載されています。是非、ご活用くださいますようお願いいたします。

本ハーネス表での機種表示は以下の様に表示いたします。

- | | |
|--|---|
| ・ ProLightシリーズ : ES-89ProLight (ESL20)、 ES-89ProLight II (ESL24)、 ES-89ProLight II PS (ESL25)、 PS2 (ESL26)、PSL200 (ESL30)、 PS3 (ESL31)、PS4 (ESL32)、PS5 (ESL33)、 PSダブル (ESL28)、PSタイプ (ESL29) | ・ Pico950 : Pico950 (ESP40) ・ PicoPS : ES-89PicoPS (ESP31・ESP32) ・ Pico : ES-89Pico (ESP11) ・ Cute : ES-89Cute (ESC02) ・ DualPico : ES-89DualPico (ESP20) |
|--|---|

対応車両について 警告、注意

- ES-89シリーズは、国産12V車専用です。輸入車への取り付けはできません。
- ES-89シリーズはトラック、重機、その他の特殊車両等には取り付けできません。
- ES-89シリーズはオートマチック車専用です。マニュアル車には取り付けできません。
- ES-89シリーズは、このハーネス適応表で設定していない車種については取り付けができません。
- 取り付けは概念的な説明で確実に取り付けの出来る専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。専門の知識がない方がご自分で取り付けられた場合はPL保険の保証対象となりません。
- エンジンスターターをご使用になる際はエアコン、ヒーター以外の電装品(ワイパー、リアデフォグガー、シートヒーター等、対応車種以外はオートライトスイッチ等)は必ずOFFにしておいてください。
- キー操作のみで(アクセルペダル、チョークノブ等操作せずに)1秒以内のクランキング時間でエンジンが始動する車両に取り付け可能です。
- ES-89シリーズは他社製(メーカー純正、オプション含む)のセキュリティーシステム等の機器との併用はできない場合があります。
- 他社製ターボタイマーとは併用できません。

専用ハーネスについて 警告

「テレコントロールエンジンスターター ES-89シリーズ」には、当社製専用ハーネスを使用してください。

本ハーネス適応表に掲載、指定してあるハーネス以外での取り付けや他社製品との組み合わせによる取り付け、及びハーネスを改造、分解してのご使用は不具合や故障の原因となり最悪の場合には、車両火災、人身事故等を招く恐れがありますので絶対におやめください。指定のハーネス以外や、改造、分解されたハーネスで取り付けられた場合は製品の保証及びPL保険の保証対象となりません。サービス、問い合わせもお受けできません。また車両を損傷した場合にも、当社は一切責任を負いません。

当社製専用ハーネスは車種ごとに専用カプラーを使用し、必要な配線と位置を現車にて確認の上製作されています。また、ハーネスに使用しているリレーはセルモーター飛び込み防止や大電流による車両損傷防止、エンジンスターター本体の損傷防止の目的で使用されています。

盗難発生警報装置技術基準適合について

道路運送車両の保安基準が改定され2006年7月1日以降の登録車両に対して運用が開始されました。その新保安基準の中で盗難発生警報装置の技術基準が設けられました。この製品は技術基準に準拠し「全国自動車用品工業会 盗難発生警報装置自主基準登録制度」に登録され、登録品にのみ発行されるVASマークの発行を受けた製品です。2006年7月以降に登録された車両でES-89ProLight IIをお取付いただく場合には適応したハーネスでの取り付けが必要です。必ず指定された専用ハーネスのご使用をお願いいたします。

セキュリティ機能、セキュリティーモードについて

ProLightシリーズのセキュリティ機能及びセキュリティーモードは、車両の異常を監視して、異常があったときにリモコンまたはホームターミナル(オプション)に通報する(ProLight IIではホーンにより車両の周囲への警報も行う)為の機能であり、車両の盗難を防止するものではありません。

DualPicoのセキュリティ機能はセキュリティーオプションの取り付けが必ず必要になります。車両の異常を感知してホームターミナルに通報するための機能で、リモコンにはアンサーバックしません。別売りオプションのホームターミナル、アラームユニットの取り付け、ご使用をお勧めいたします。車両ドアロック操作とは連動しません。

注意:セキュリティ機能、セキュリティーオプション機器は車両の異常を監視し警告または異常を知らせるための機能、機器で車両の盗難を防止するものではありません。機器の作動の有無にかかわらず発生した盗難や車上あらしによる損害、被害に対する責任は一切負いかねますのでご了承下さい。

オートマチック車の認識設定について

取り付け作業終了後、または、受信機・リレーユニットの専用ハーネスを外した後、車両バッテリー脱着後等、受信機・リレーユニットの電源が遮断された時は、この設定が必要になります。設定を行いませんと、エンジンスタートは作動しません。下記の手順に従って、設定を行ってください。

| 操作 | 受信機・リレーユニットのアンサーバック音 | 備考 |
|-----------------------------------|----------------------|-----------|
| イグニッションをONにする | | 受付時間10秒以内 |
| 「STOP」ボタンを押す | ピーピーピー… | 受付時間10秒以内 |
| シフトレバー「P」→「R」 または、フットブレーキを踏む※2 | プププ…音色とスピードが変化 | ゆっくり確実に |
| シフトレバー「R」→「P」 または、フットブレーキを放す※2 | ※1 ピピーで完了 | 設定完了 |
| キーを抜いて終了 | | |

※1…パーキングポジションの配線をした場合、「ブーブブ」と先に鳴ります

※2…取り付ける車種、配線方法により、フットブレーキを使って設定を行う場合があります。

イグニッションキーでのエンジン始動時のご注意

ProLightシリーズ、Lightシリーズのドアロック機能はイグニッションキーによるアイドリング中は作動しません。(※注) ドアタイマー作動中(エンジンスタートによるアイドリング中)に、エンジンキーを挿して、「ON」にした後は、ドアを閉めた状態で車外からリモコンによる「SET」/「RESET」操作(リモコンのロック/アンロック操作)を行わないでください。ドアタイマーが終了すると、リモコンによる「SET」/「RESET」操作を行っても車両のロック/アンロックは作動しないため、車内からキーを取り出せなくなります。 ※注、エンジンスタートによるアイドリング中は作動します。

メーカー純正キーレスエントリー装着車についてのご注意

メーカー純正のキーレスエントリーシステム、スマートキーシステム等の装着車には、イグニッションキーによるアイドリング中に作動しないものがあります。その場合、エンジンスタートによるアイドリング中にも作動しません。(「STOP」ボタンを操作してエンジンを停止させないと純正キーレスエントリーは作動しません。)

ProLightシリーズのロック/アンロック機能は、エンジンスタートによるアイドリング中でも使用できます。(純正キーレスエントリーがアイドリング中に作動しない車種でもProLightシリーズであればロック/アンロックが使用できます。)

オートライト機能装着車についてのご注意(ProLightシリーズ)

一部の車種においては、ProLightシリーズのオートライトキャンセル機能が使用できない場合があります。エンジンスタート本体からのオートライト配線(CN2の白色配線)を車両側に接続すると、以下の現象が出る場合は該当します。

- ①ProLightシリーズによるアイドリング停止後に、ProLightシリーズのリモコンでアンロックができなくなる車両。
- ②ProLightシリーズによるアイドリング停止時に、ProLightシリーズのセキュリティ機能(通報又は警報)が作動してしまう。

上記の場合には、ProLightシリーズのオートライト配線を車両側には接続しないでください。また、エンジンスタートを使用する際は、必ず車両のオートライトスイッチをOFFにしてください。

パーキングポジションの検出について

パーキングポジションの検出は通常、専用ハーネスのST1(緑)ラインを通じてオート(自動)で検出しますが、車種によっては検出できない場合があります。この場合、CN-2のパーキングポジション(青色線)を必要箇所に配線してください。

Pポジション信号線の接続先が無い車両は、フットブレーキ信号線に配線を行う場合があります。

※詳しくは、車種別取付資料を参照して下さい。

オルタネーターのL端子電圧検出 ディーゼル車は必ず配線

受信機・リレーユニットは、車両バッテリー電圧の変化によりエンジンの始動判断を行います。バッテリー電圧の変化が小さい車種(特にディーゼル車)では、エンジン始動判断がオートでできない場合があります。

不具合現象①:セルモーターを駆動し、エンジン始動したのに、しばらくすると停止してしまう。

不具合現象②:不具合現象①を3回繰り返した後リセットする。

不具合現象③:セルモーターを駆動し、エンジンが始動しなかったのに再始動を行わない。

上記のような症状の場合下記に従って、L端子電圧の検出配線をしてください。

手順①: CN-2のL端子(茶色線)を配線

手順②: エンジンスタートにて始動後、始動判断がL端子検出になっていることを確認する。

配線先等の詳細は取扱・取付説明書、車種別取付資料を参照してください。

オプションパーツについて

ProLightシリーズ、Light用 ハザードユニット(EP086)

ハザードユニット(EP086)はProLightシリーズ 及び Light(ESL05、11)用のオプションパーツです。エンジンスタートでドアロック操作を行った時に車両のハザードランプを点滅させて離れた場所から以下のような動作状態を確認することができます。

- ・エンジンスタートのロック(SET)操作で、ハザードランプが1回点滅します。
- ・エンジンスタートのアンロック(RESET)操作で、ハザードランプが2回点滅します。
- ・エンジンスタートのオートロック作動時に、ハザードランプが1回点滅します。

ProLightシリーズ、Light用 ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

ドアロックリレーNLⅢ(EP070)はProLightシリーズ 及び Light(ESL05、11)用のパーツで、本体からのドアロック出力信号を切り替える部品です。ドアロック、アンロックの配線は、車両ごとにコントロール方法が異なります。そのためこの部品を使用することによりさまざまな車種に対応し、ドアロック機能を使用することが可能になります。**※詳細は、本書にありますドアロック接続タイプの欄に記載されておりますのでご確認ください。(7ページ参照)**

多重通信用ドアロックリレー(EP074)

車両のドアロック機能が多重通信システムでコントロールされている車種で、ProLightシリーズ 及び Lightシリーズのドアロック機能を使用する場合に使用します。**※詳細は、本書にありますドアロック接続タイプの欄に記載されておりますのでご確認ください。(7ページ参照)**

ドアロックアクチュエータ(モーター)キット (EP015)

運転席ドア内にアクチュエータが無い場合に必要となる汎用のドアロックアクチュエータ(モーター)です。運転席のドアロックノブを直接コントロールする為に使用します。ドアロック接続タイプの**Cタイプ接続**と記載されている車両には**ドアロックリレーNLⅢ(EP070)**とセットで必要になります。

※取り付け後、キーシリンダーや、手動にてドアロックノブを操作するとリンク機構が外れてリモコンからの操作と連動しなくなります。その場合、一旦現在のドアロックノブの位置と同じリモコンのボタンを押してください。

※詳細は、本書にありますドアロック接続タイプの欄に記載されておりますのでご確認ください。(7ページ参照)

ドア信号検出ユニット(EP030)、ドア信号検出ユニットⅡ(EP131)

ドア開閉信号が、各ドアごとに分かれている車種や、開閉信号電圧が12Vに満たない車種でドアの開閉を検出する場合に必要です。ドア信号検出ユニット(EP030)は2箇所、ドア検出ユニットⅡ(EP131)は5箇所をまとめて検出を行うことが可能になります。(車種、検出数によって複数個必要になる場合もあります。)

※特にProLightシリーズ、DualPicoのセキュリティ機能を使用する場合に、バックドア等の開閉信号がその他のドアと別になっている車種は、ドア信号検出ユニットを使用しないとすべてのドア開閉を検出できません。

ホーンジャンパー(EP032)

イグニッションキーの位置を「ACC」もしくは「ON」にしないとホーンが鳴らない車両でエンジンスタートのホーンによる警報機能を使用する際に必要になります。本体にホーンによる警報機能、ホーン確認機能が内蔵されていない機種は使用できません。

ボンネットセンサー(EP051)

ボンネット開閉を検出します。ボンネットセンサーを取り付けると、ボンネットが開いた状態ではエンジンスタートは作動しません。車両整備中の誤動作による事故防止、安全面におかれましてはお取り付けいただくことをお勧めします。

オプションリレー(EP052)

取り付ける車種、使用する機能により、必要になる場合があります。

例: ドアタイマー作動中のトヨタ車 電動チルトステアリング付き車種の対応

: オートライトキャンセル機能に使用(トヨタ・日産 一部車両)

: ProLightのアフターアイドル機能作動中にキーが抜けなくなる日産車の対応

: ホンダレジェンドのDPS機能の誤動作を防止する場合

室内アンテナ延長ケーブル (EP065) ProLightシリーズ、DualPico以外

室内アンテナ設置位置をリアトレイ等に変更する場合など、ケーブルを延長したい場合に使用してください。

※延長ケーブル寸法 2.5メートル

アフターアイドルユニット(EP073)

Light(ESL05、11)、Pico(ESP11)でアフターアイドル機能を使用する際に、動作状況によって必要になる場合があります。(Pico(ESP11)の場合は製品、設定状態によっても異なります。)

※アフターアイドル機能を「使用する」設定時に走行後車両のキーをOFFにして抜いたとき、車両メーターの電源はONしたままエンジンが止まってしまう車両に取り付けます。

※ES-89ProLight(ESL20、22)、ProLight II(ESL24)では必要ありません。

盗難警戒ホームターミナル (EP099)

車両の異常を24時間部屋の中(室内)で監視することができます。異常時にはホームターミナルよりアラームでお知らせします。(車両側: アンテナユニットからの電波到達範囲内に限ります。)

通信ハーネス延長ケーブル (EP100) ProLightシリーズ、DualPico用

ProLightシリーズ、DualPicoのアンテナユニット設置位置をリアトレイ等に変更する場合など、ケーブルを延長したい場合に使用してください。※延長ケーブル寸法 4メートル

マイクロ波センサー (EP102) ProLightシリーズ、DualPico用

車両の周辺異常を監視することができます。異常時には本体からのブザー音とリモコンまたはホームターミナル(オプション)への通報でお知らせします。(車両側: アンテナユニットの電波到達範囲内に限ります。)

アラームユニット (EP103) ProLightシリーズ、DualPico用

マイクロ波センサーに連動して異常時には車外(ボンネットフード内)でアラーム音を発生させて威嚇します。

自動通報ユニット (EP108) ProLightシリーズ、DualPico用

車両の異常を、指定された一般電話、携帯電話に音声でお知らせすることができます。ご使用の際は盗難警戒ホームターミナル(EP099)の設置が必ず必要になります。(車両側: アンテナユニットからの電波到達範囲内に限ります。)

トヨタ用多重アダプター(PS用アンロックユニット)(EP133)

ProLight II PS2、PS3、PicoPS用

ES-89PicoPS、ES-89ProLight II PS2、PS3に追加して本製品を適応車種に取り付けすることで、エンジンスターターによるアイドリング(暖機)中に、車両のスマートエントリー操作(スマートキーを携帯)によるドアロック/アンロック、及びキーレスエントリー操作(スマートキーのボタン)によるドアロック/アンロックが可能になります。また、オートエアコン付き車は、エンジンスターターによるアイドリング時に、エアコンを自動的に作動(設定温度は25℃固定)させることができます。(選択可能) 商品コードESP32はEP133が同梱されています。

●EP133が取付けられる車種一覧 トヨタ車

| 車種 | 型式 | 年式 | 車種 | 型式 | 年式 |
|-------------|----------------|--------|------------|-------------|--------|
| ist | NCP11#/ ZSP11# | 19.8～ | カムリ | ACV4# | 18.1～ |
| RAV4 | ACA3# | 17.11～ | カローラアクシオ | E14# | 18.10～ |
| アリオ | T26# | 19.6～ | カローラフィールダー | E14# | 18.10～ |
| アルファード | ANH2#/GGH2# | 20.5～ | カローラ ルミオン | E15# | 19.10～ |
| ヴァンガード | ACA3#/GSA3# | 19.8～ | ノア | ZRR7# | 19.7～ |
| ヴィッツ | #P9# | 17.2～ | ブレイド | E15# | 19.1～ |
| ヴェルファイア | ANH2#/GGH2# | 20.5～ | プレミオ | T26# | 19.6～ |
| ヴォクシー | ZRR7# | 19.7～ | ベルタ | #P9# | 17.11～ |
| エスティマ | #R5# | 18.1～ | マークX ジオ | GGA1#/ANA1# | 19.9～ |
| エスティマハイブリッド | AHR20 | 18.6～ | ラクティス | #P10# | 17.10～ |
| オーリス | E15# | 18.10～ | | | |

ダイハツ車

| 車種 | 型式 | 年式 | 車種 | 型式 | 年式 |
|-------|-------|-------|----|----|----|
| アルティス | ACV4# | 18.1～ | | | |

追加ハーネス (EP137)

ESL33 ProLight II PS5に取り付けする際使用します。(現在はiQのみ)

追加ハーネス II (EP142)

ESL32 ProLight II PS4に取り付けする際使用します。(現在はJ15#系ランドクルーザープラドのみ)

イモビ対応ユニット

エンジンイモビライザーシステム装着車をエンジンスターターでエンジン始動させる場合に必要なユニットです。対応車種は、車種別取り付け図面をご覧ください。本ハーネス表の車種別情報の欄をご確認ください。

トヨタ用(T-2～T-6イモビ対応ユニット、生産、販売終了しております)

T-2～T-6イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用して登録を行います。尚、Cutelは下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・T-2イモビ対応ユニット(EP079)
- ・T-3イモビ対応ユニット(EP080)
- ・T-4イモビ対応ユニット(EP081)
- ・T-5イモビ対応ユニット(EP082)
- ・T-6イモビ対応ユニット(EP084)

トヨタ用(T-7~T-10イモビ対応ユニット)

T-7~T-10イモビ対応ユニットを使用するためには、車両診断装置を使って車両側にユニットのキー登録をする必要があります。キー登録はトヨタディーラーに依頼して行うため、登録作業に別途費用が必要になる場合があります。(作業費用はトヨタディーラーにあらかじめご確認ください。)尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・T-7イモビ対応ユニット(EP088) ・T-8イモビ対応ユニット(EP094)
- ・T-10イモビ対応ユニット(EP096)

トヨタ用(T-11、T-12イモビ対応ユニット エフ・アンド・オー・システムズ製)

T-11、T-12イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用して登録を行います。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・T-11イモビ対応ユニット(FOT11) ・T-12イモビ対応ユニット(FOT12)

日産用(N-1イモビ対応ユニット)

N-1イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用してエンジンを40分程度アイドリングしたままの状態で行います。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・N-1イモビ対応ユニット (EP089)

日産用(N-2イモビ対応ユニット・ハーネスセット エフ・アンド・オー・システムズ製)

「N-2イモビユニット・ハーネスセット」はイモビ対応ユニットと専用ハーネスがセットになった商品です。取り付けする車種によって設定(商品コード)が異なります。イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用して登録を行います。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・N-2イモビユニット・VN208ハーネスセット (EP129)
- ・N-2イモビユニット・VN209Pハーネスセット (EP130)

ホンダ用(イモビ対応ユニット エフ・アンド・オー・システムズ製)

ホンダ用イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用して登録を行います。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・H-1イモビ対応ユニット (FOH01) ・H-2イモビ対応ユニット (FOH02)
- ・H-4イモビ対応ユニット (FOH04) ・H-5イモビ対応ユニット (FOH05)
- ・H-6イモビ対応ユニット (FOH06)

ダイハツ用(イモビ対応ユニット エフ・アンド・オー・システムズ製)

A-1～A-4イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、イモビ対応ユニットの登録作業を行う必要があります。この製品の登録作業はエンジンスターター、イモビ対応ユニットをお取り付けいただいた後、イグニッションキーを使用して登録を行います。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・A-1イモビ対応ユニット (FOA01)
- ・A-2イモビ対応ユニット (FOA02)
- ・A-3イモビ対応ユニット (FOA03)
- ・A-4イモビ対応ユニット (FOA04)

スズキ用(イモビ対応ユニット・ハーネスセット エフ・アンド・オー・システムズ製)

「S-1、S-2イモビユニット・ハーネスセット」はイモビ対応ユニットと専用ハーネスがセットになった商品です。取り付けする車種によって設定(商品コード)が異なります。お取り付け前にご確認下さい。尚、Cutelは、下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・S-1イモビユニット・VS213Pハーネスセット (EP132)
- ・S-2イモビユニット・VS221Pハーネスセット (EP134)

S-2イモビユニット・VS221Pハーネスセットはキーレスプッシュスタートシステム装着車のみ取り付け可能です。

マツダ用(M-1、M-2イモビ対応ユニット)

M-1、又はM-2イモビ対応ユニットをお取り付けいただく場合、ご注文時に車両のキー又はカードキーの1個をお預かりし、車両に合わせたイモビユニットを作成いたします。イモビユニットへの登録作業を行ってから取り付けとなります。この作業は必ず必要になります。イモビ対応ユニットの登録作業につきましては事前に販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。尚、Cutelは下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・M-1イモビ対応ユニット(EP118)
- ・M-2イモビ対応ユニット(EP122)

三菱用(D-1、D-2イモビ対応ユニット、生産、販売終了しております)

D-1、D-2イモビ対応ユニットを使用するためには、車両診断装置(MUT)を使って車両側にユニットのキー登録をする必要があります。キー登録は三菱ディーラーに依頼して行うため、登録作業に別途費用が必要になる場合があります。(作業費用は三菱ディーラーにあらかじめご確認ください。)尚、Cutelは下記のイモビライザー装着車には取り付けできません。

- ・D-1イモビ対応ユニット (EP077)
- ・D-2イモビ対応ユニット (EP085)

ドアロック接続タイプ

ドアロック、アンロックの配線は、車両ごとにコントロール方法が異なるため、車両によりドアロック機能を作動させるための部品が異なります。車種ごとの設定は**ドアロック接続タイプ**の欄に記載されています。本書では車種ごとの**ドアロック接続タイプ**部分の表示方法をA～Dタイプで表示いたします。詳細は下記の表を参照していただきドアロック接続タイプの欄と照合してください。

Aタイプ (NL接続タイプ)

ProLightシリーズ本体からの配線で取り付け可能

車両の集中ドアロックスイッチで全てのドアロックのコントロールができる場合

Bタイプ (割り込み接続タイプ)

ProLightシリーズ本体+ドアロックリレーNLⅢ(EP070)で取り付け可能

純正キーレスエントリー装着車で運転席ドアにもドアロックモーターが入っている場合

運転席ドア内部でドアロックスイッチとリレーが一体式になっている場合

Cタイプ (DL接続タイプ)

ProLightシリーズ本体+ドアロックリレーNLⅢ(EP070)+ドアロックアクチュエータ(モーター)キット(EP015)で取り付け可能

運転席のロックノブを動かすと、他の全てのドアが連動して動くタイプの集中ドアロックシステムの場合

運転席側ドア内に純正のドアロックアクチュエータ(モーター)が入っていない車両(運転席側以外の全てのドアに純正のドアロックアクチュエータ(モーター)が入っていること)

Dタイプ (多重通信接続タイプ)

ProLightシリーズ本体+多重通信用ドアロックリレー(EP074)で取り付け可能

ドアロックを多重通信システムでコントロールしている車種の場合

プリウス(zvw30)特有の注意事項

プリウス変更後の車両の見分け方

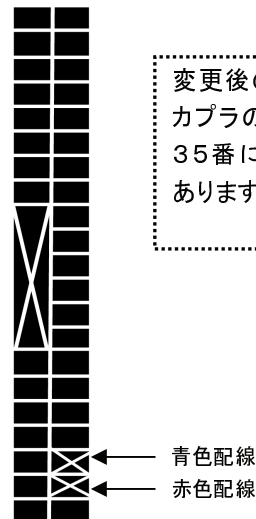
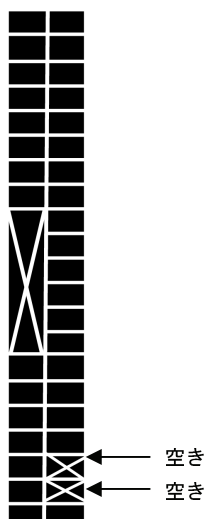
スマートコンピューター36P白色カプラ(運転席右側)をご確認ください。

変更前の車両・・・ESL32(PS4)を使用

概ね2009年9月下旬までにメーカー出荷された車両

変更前の車両・・・ESL33(PS5)を使用

概ね2009年10月初旬以降にメーカー出荷された車両



変更後の車両は、36Pカプラの34番に青色、35番に赤色の配線があります。